在学生1メッセージ

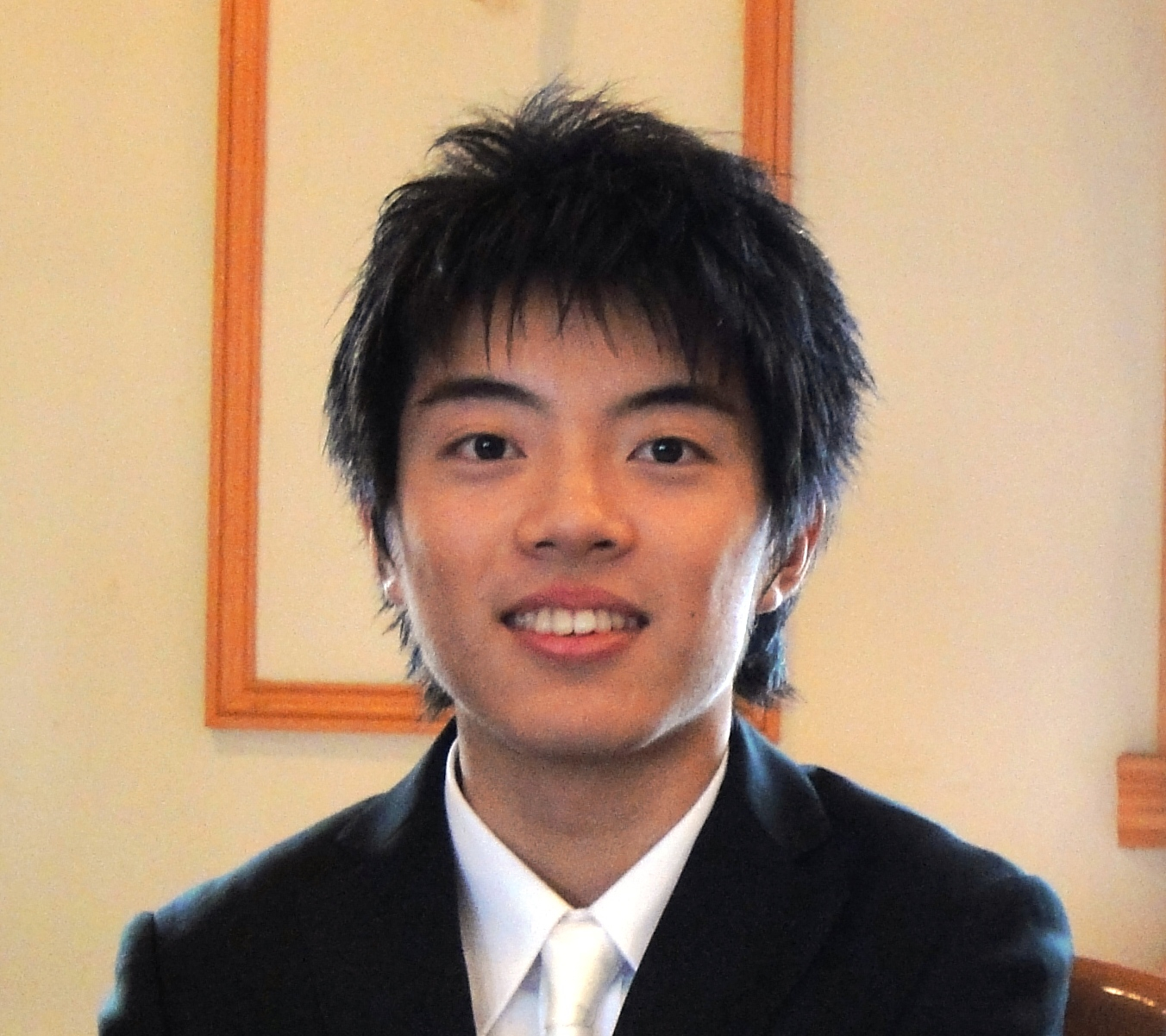
岡島 悟　(学部生４年)

地球惑星物理学科は気象・地震・惑星という身近な現象について幅広く学ぶことができますが、この学科の良さはここにあると僕は思います。僕自身は気象に興味を持っていてこの学科への進学を決めたのですが、進学してから様々な現象や理論を学ぶことで興味の対象がどんどん広がっていきました。物理などの理論を用いて台風・気候変動・地震・火山・太陽活動などの身近な現象の裏にあるメカニズムを理解し、シミュレーションなどの手法を用いて解析する。身の回りの自然現象に興味がある人や、今まで学んできた物理学を実際に使って何かをしてみたいという人は是非この学科へ進学してみてはいかがでしょうか。



在学生2メッセージ

仲谷 幸浩　(学部生４年)

この学科では、地震や気象といった身近な自然現象から、惑星探査などの宇宙空間現象まで、様々な分野を対象に学ぶことができます。講義では各分野の理論を基礎から履修できますし、観測実習・実験・数値シミュレーションなどを通じて解析技術も身につきます。現在は先生の協力の下、仲間たちと共に、昨夏の異常気象の再現・九州のゆっくり地震の調査・竜巻発生メカニズムの研究などに取り組んでいます。地球や惑星に対する興味があれば、この学科できっと皆さんのやりたいことが見つかると思います。

在学生３メッセージ

川島　由依（学部生3年）

地球惑星物理学科は、地球以外も含めた惑星で生起する気象・海洋・宇宙・固体などのありとあらゆる現象を、物理によって解明することを目指す学科です。この学科の魅力的な点の一つは、講義や実験、観測実習等を通して、自分が進みたい分野をじっくりと決められるところだと思います。また、３０人程度という人数も、様々な面白い人がいて、丁度よいと思います。地球や惑星の自然現に興味があり、その現象を、今までに習ってきた物理を基本に使って解明してみたいという人には、まさにぴったりの学科だと思います。



在学生4メッセージ

蓜島　大資（学部生3年）

この学科の魅力は大きく分けて二つあると思います。1つは地球もしくは宇宙といった壮大なスケールで起こる身近な自然現象を対象としていること。もう1つは講義に加えて計算機演習、観測実習、実験などを通して実用的な技術を身につけることができること。扱う範囲が広いだけに地震や気象、太陽活動など研究分野は多岐にわたりますが、これらを幅広く学んでいきます。学びたいことが漠然としている人でも地球や惑星、身近な自然現象に興味があるなら、必ず自分の研究したい分野を見つけることができるはずです。

